

# 甲 田 遺 跡

富田林市遺跡調査会報告 9

編集・発行 富田林市遺跡調査会

住 所 〒584-8511

富田林市常盤町1番1号

発行年月日 1997年12月29日

調査地 大阪府富田林市甲田2丁目1094-1

調査原因 葬祭会館建設

調査主体 富田林市遺跡調査会

調査担当者 平方扶左子

調査面積 60m<sup>2</sup>

調査期間 1997年12月2日～12月29日

に広がっています。その範囲は南北750m、東西550mに及びます。1968（昭和43）年、遺跡東方の甲田浄水場進入路工事の際に、古墳時代後期の土器が出土したことから、その存在が知られるようになりました。これまでの調査によって、弥生時代から中世にかけての遺跡であることが分かっています。

## はじめに

甲田遺跡は、富田林市のほぼ中央部に位置し、市内中央を流れる石川西岸の低位及び中位段丘上

甲田遺跡の周辺は数多くの遺跡が分布しています。北東側には谷川遺跡、北西側には太郎池遺跡が、西側に近接して新家遺跡、南側に近接して甲田南

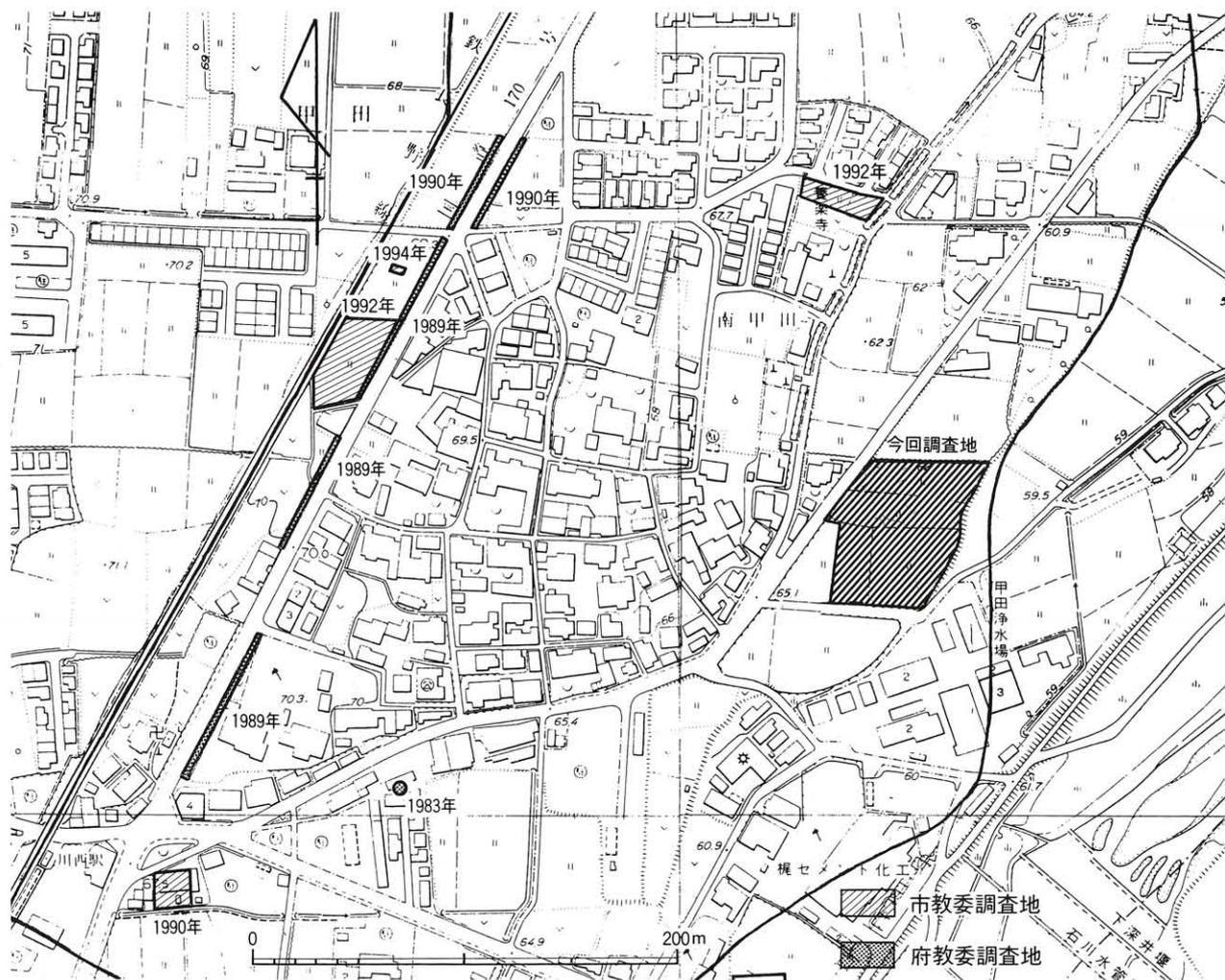


図1 甲田遺跡調査地位置図

遺跡があります。

今回の調査は、浄化槽部分について、事業主である中井義幸氏の協力を得て行いました。

### 地形と層序

調査地周辺は、東は石川、西は東高野街道に挟まれた、低位段丘上に位置しています。

調査地の堆積層は上から順に、第1層（耕土）、第2層（床土）、第3層（灰黄色土）、第4層（黄灰色粘質土）、第5層（濁灰黄色粘質土）、第6層（濁黄灰色粘質土）で、それらを取り除くと地山面に達します。遺構はすべてこの面で検出されています。調査区の西側では水田面が3面、東側では1面確認できました。

### 遺構と遺物

今回の調査では、溝、土坑6、ピット34を検出しました。（図2）

溝 調査区西側に広がっており、東側と、南西側の1部で肩を検出しました。検出幅は、北側の広いところで東西5m、南側の狭いところで東西0.85mで検出しました。深さは、深いところで約0.5mを測り、比高差は0.17mで北流します。堆積層は2

#### 参考文献

- ・『平成5年度富田林市内遺跡群発掘調査概要』富田林市教育委員会（1994）
- ・『平成4年度富田林市内遺跡群発掘調査概要』富田林市教育委員会（1993）
- ・『甲田遺跡発掘調査概要』大阪府教育委員会（1990）
- ・『甲田遺跡発掘調査概要Ⅱ』大阪府教育委員会（1990）

種別	形状	大きさ(m)	深さ(cm)	土色	遺物
ピット1	不整形	0.57 × (0.28)	32	暗灰褐色混礫粘質土	
ピット2	不整形	0.30 × (0.07)	—	暗灰褐色混礫粘質土	
ピット3	円形	0.24 × 0.22	25.5	暗灰褐色混礫粘質土	
ピット4	楕円形	0.32 × 0.25	23.5	暗灰褐色混礫粘質土	
ピット5	隅丸方形	0.60 × 0.53	10.5	暗灰褐色混礫粘質土	
ピット6	円形	0.32 × 0.29	7	暗灰褐色混礫粘質土	
ピット7	隅丸方形	0.84 × 0.67	10	暗灰褐色混礫粘質土	
ピット8	円形	0.26 × 0.26	12.5	暗灰褐色混礫粘質土	
ピット9	隅丸三角形	0.45 × 0.36	7.5	黒褐色混礫粘質土	土師器
ピット10	隅丸三角形	0.81 × 0.74	16	暗灰褐色混礫粘質土	
ピット11	楕円形	0.67 × 0.47	25.5	暗灰褐色混礫粘質土	
ピット12	隅丸方形	0.76 × 0.45	10	暗灰褐色混礫粘質土	
ピット13	不整形	0.53 × (0.36)	21.5	暗灰褐色混礫粘質土	
ピット14	不整形	0.51 × (0.37)	26	暗灰褐色混礫粘質土	
ピット15	円形	0.52 × 0.42	14	暗灰褐色混礫粘質土	
ピット16	円形	0.35 × 0.37	10.5	暗灰褐色混礫粘質土	
ピット17	円形	0.33 × 0.36	2	暗灰褐色混礫粘質土	
ピット18	隅丸方形	0.52 × 0.52	22.5	暗灰褐色混礫粘質土	
ピット19	円形	0.37 × 0.33	12	暗灰褐色混礫粘質土	
ピット20	楕円形	0.44 × 0.33	11.5	暗灰褐色混礫粘質土	
ピット21	不整形	(0.41) × 0.38	12.5	暗灰褐色混礫粘質土	
ピット22	不整形	(0.32) × 0.34	10.5	暗灰褐色混礫粘質土	
ピット23	円形	0.32 × 0.25	1.5	暗灰褐色混礫粘質土	
ピット24	不整形	0.36 × (0.26)	38.5	暗灰褐色混礫粘質土	
ピット25	円形	0.40 × 0.40	16	暗灰褐色混礫粘質土	
ピット26	円形	0.43 × 0.44	9	暗灰褐色混礫粘質土	
ピット27	楕円形	0.43 × 0.28	13	暗灰褐色混礫粘質土	
ピット28	楕円形	0.67 × 0.44	23.5	暗灰褐色混礫粘質土	
ピット29	円形	0.58 × 0.53	23.5	暗灰褐色混礫粘質土	
ピット30	楕円形	0.44 × 0.35	30	暗灰褐色混礫粘質土	
ピット31	楕円形	0.37 × 0.28	22.5	暗灰褐色混礫粘質土	
ピット32	不整形	0.64 × (0.40)	28	暗灰褐色混礫粘質土	
ピット33	楕円形	0.66 × 0.46	28.5	黒褐色混礫粘質土	
ピット34	楕円形	0.60 × 0.45	25	黒褐色混礫粘質土	

表1 ピット一覧表

層あり、1層目は濁灰褐色粘質土、2層目は黒褐色混礫粘質土で北側の深い部分のみに1層目が堆積していましたが、細片のため時期は不明です。

土坑 調査区全体に検出されました。形状はいずれも不整形で、深さは約15cmから33cmを測り、埋土は全て暗灰褐色混礫粘質土で、遺物は出土していません。

ピット 土坑同様に調査地全体に検出されました。詳細については、表1を参照されたい。

### まとめ

今回の調査地は石川に面した東端部にあたります。狭い面積の調査にもかかわらず、多数のピット・土坑を検出しましたが、遺構の性格、時期を決める遺物が出土していません。しかし、過去の調査で、南甲田の集落辺りに古墳時代から奈良時代の集落があったと推定されています。今回の調査地が南甲田の東側に位置することから、これら多数のピットや土坑は、同時代の可能性も考えることもできますが、その詳細については今後の周辺調査の進展に期待しなければなりません。

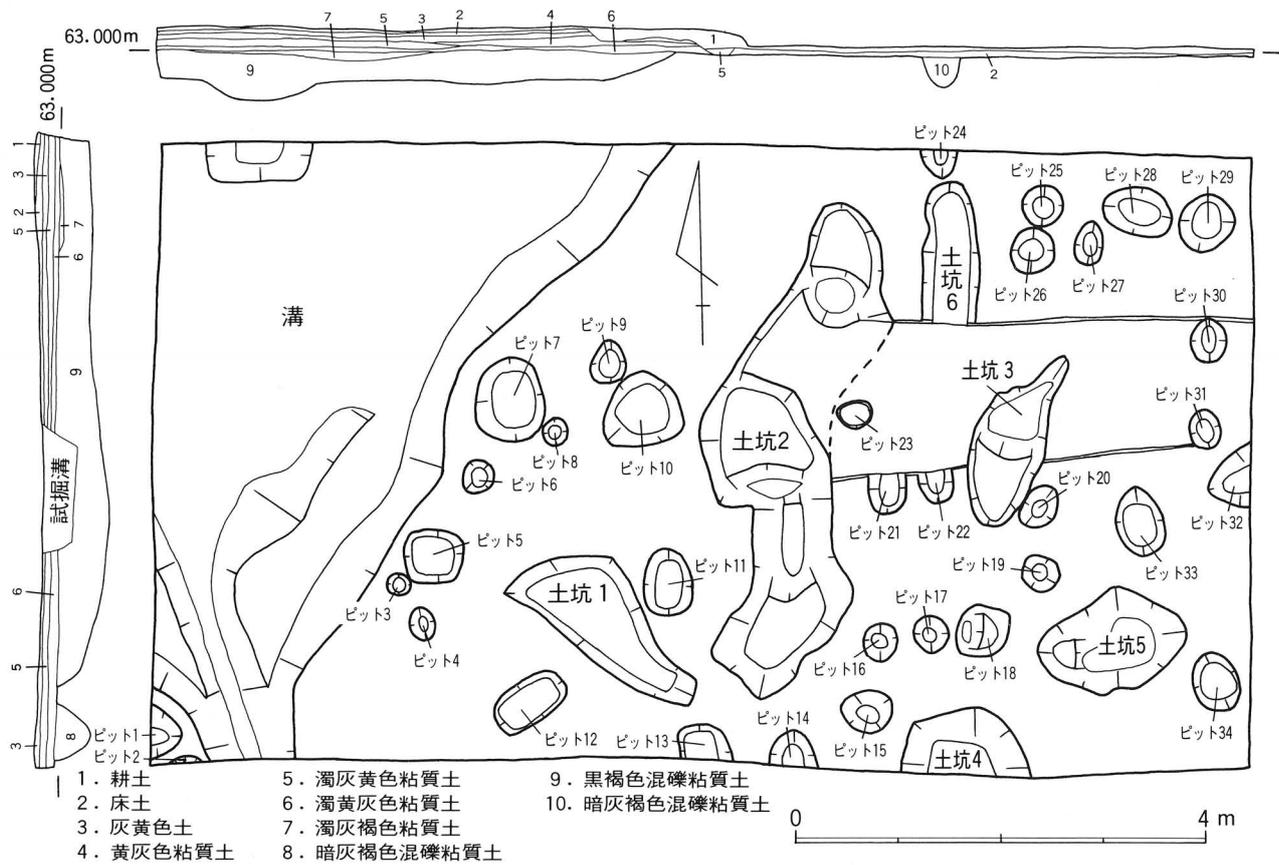


図2 遺構平面図・断面図

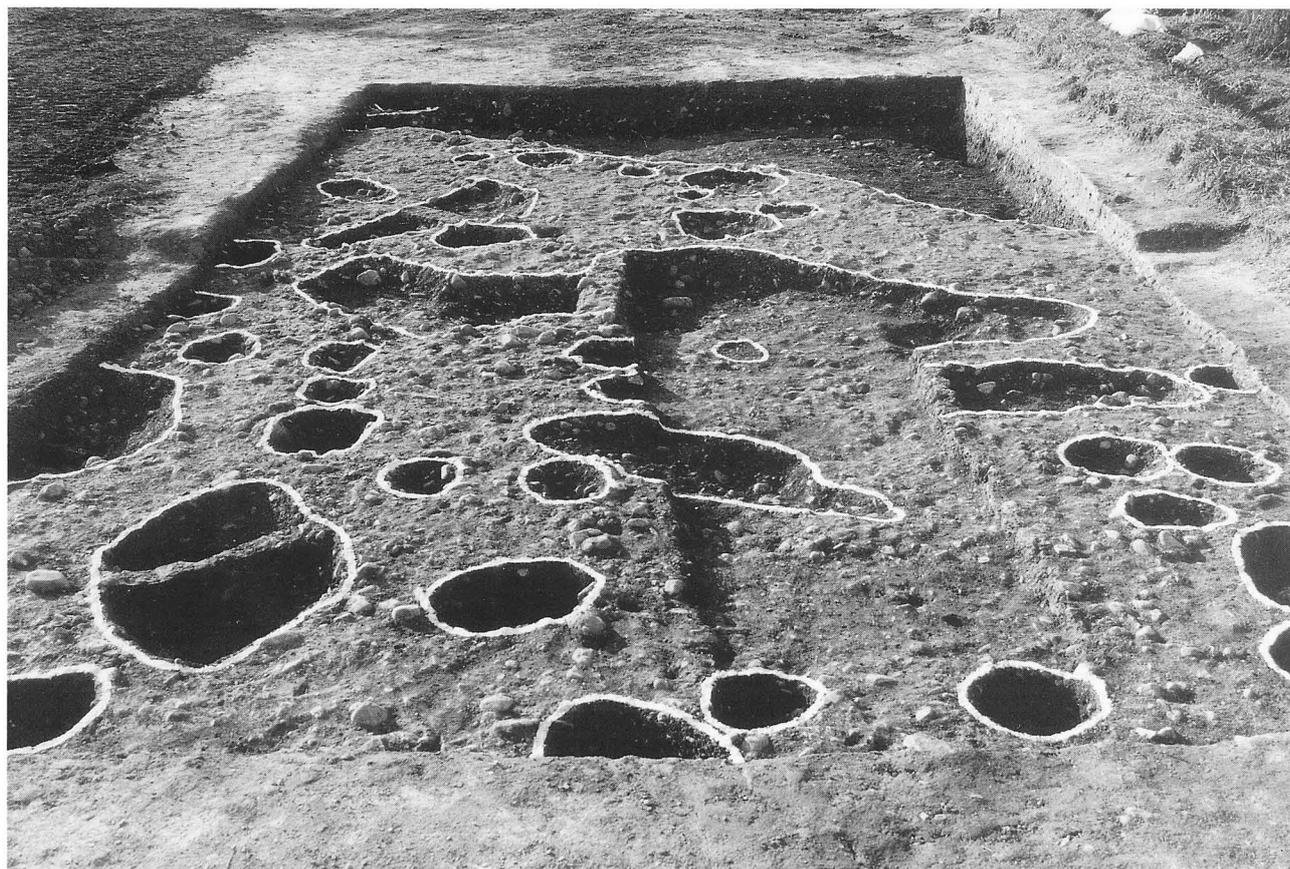


写真1 調査区全景（東から）

# 報告書抄録

ふりがな	こうだいせき							
書名	甲田遺跡							
副書名	富田林遺跡調査会報告9							
巻次								
シリーズ名								
シリーズ番号								
編著書名	平方扶左子							
編集機関	富田林遺跡調査会							
所在地	〒584-8511 大阪府富田林市常盤町1番1号 ☎0721-25-1000							
発行年月日	西暦1997年12月29日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 (m <sup>2</sup> )	調査原因
		市町村	遺跡番号					
こうだいせき 甲田遺跡	おおさかふとんだばやしし 大阪府富田林市 こうだ 甲田2丁目 1094-1	2714		34° 30' 29"	135° 35' 56"	1997.12.2 \n 1997.12.29	60.0	葬祭会館 建設
所収遺物	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物	特記事項		
甲田遺跡	集落跡	古墳時代～	溝・土坑・ピット		土師器			